

令和9年度 予算編成方針のポイント

1. 本市の重要施策の推進

(1) 災害からの復旧・復興（最優先課題）

令和8年熊本地震からの復旧・復興

・被災者の暮らしと生業の再建及びインフラ施設の復旧を最優先に、国・県と連携を図り、スピード感を持って、**復旧・復興へ向け全力で推進**していく。

豪雨災害等からの創造的復興

・令和2年7月豪雨、令和7年8月大雨からの一日も早い復興を目指し、**引き続き、全力で推進**していく。

(2) 「八代未来づくりビジョン」の推進

・計画2年目となる本年は、熊本地震からの創造的復興を進めていく中で、**7つの基本目標に掲げる取り組みも着実に推進**していく。

7つの基本目標

1. 市民から見える、市民の声を聞く**信頼**されるまちづくり
2. 地の**利**・人の利を活かしたまちづくり
3. 市民格を高める**文化薫**まちづくり
4. 災害からの**復旧・復興**まちづくり
5. **産**み・育て・学べてよかったまちづくり
6. 元気な暮らしと**持続**可能なまちづくり
7. 危機に即応できる**安全**なまちづくり

2. 持続可能な財政運営に向けた取組

(1) 財政の見通し

【歳入】 自主財源の確保

- ・賃上げや物価高騰等に伴い、個人住民税や地方消費税交付金など一定程度の増加は見込めるものの、**今回の熊本地震が市税全般に与える影響については、現時点で見通せない状況**。
- ・ふるさと納税による寄附金についても、**昨年同様、大幅な増加は見込めない状況**。

【歳出】 経常経費の増加

- ・公共施設の老朽化に伴う維持管理費や物価高騰等の影響により委託料など経常経費が更に増加しており、**歳出の増加が市税の伸びを上回る**ことが予想される。
- ・工業団地整備に伴う新たな需要や災害復旧事業による市債の増加、加えて金利上昇の影響により、**今後、公債費は更に増加する見込み**である。

(2) メリハリのある予算化の実現

- ・災害対応をはじめ本市の重要施策を全力で推進していくため、限られた財源を踏まえ、**真に必要な事業への「選択と集中」**をこれまで以上に徹底する必要がある。
- ・昨年に引き続き、義務的経費や数年ごとに行う経費等を除いた部分には、**シーリングを設定**する。

シーリング率

令和8年度当初予算における一般財源ベース **【95%】**

(物価高騰などの影響分は事業見直しにより捻出し、適切に反映すること)